

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、A問題B問題ともに全国よりも高い傾向にあります。A問題では「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」に課題があります。B問題では「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」に課題があります。
- ・数学の平均正答率は、A問題は全国と同程度、B問題はやや高い傾向にあります。A問題では、「数と式」、B問題では、「文字を用いた計算の意味を解釈し、数学的な表現を用いて説明すること」に課題があります。
- ・理科の平均正答率は、「知識」「活用」とともに全国よりやや高い傾向にあります。「科学的に探究する場面において、条件制御の知識・技能を活用すること」に課題があります。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向がみとめられる項目
「自分には、よいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「学校の規則を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」「朝食を食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」「家で、学校の宿題をしている」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」「テレビのニュースやインターネットのニュースを見る」「数学ができるようになりたい」「数学の問題で最後まで解答を書こうと努力した」「理科の実験を行うことは好きだ」「理科の問題を最後まで解答を書こうと努力した」等について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強するか」「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書するか」「新聞を読んでいる」「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらった、一緒に遊んだりする」等、家庭での学習や地域との関わりに課題があります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・生徒一人一人が授業のめあてを意識し、授業の終わりに振り返りの時間をもつ授業を行っていきます。
- ・全教科で言語活動を充実し、自分の考えを書いたり、発表したり対話をする授業を行っていきます。
- ・家庭学習の定着のために、家庭学習ノートの取り組みを継続して行います。
- ・「読むこと」「書くこと」の学習では、目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くなど関連させた活動を行います。
- ・数学の学習では、文字を用いて数量を一般的に表すことや目的に応じて式を変形し、見通しをもって式を能率的に扱う力を伸ばします。
- ・理科の学習では、見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察実験を行うなどの科学的に探究する活動を充実させます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・学習の定着を図るために、家庭での学習時間を確保してください。
- ・学校での出来事や新聞や読書などの内容を親子で話し合うなど、様々なことに興味関心をもてるようにしてください。
- ・テレビの視聴時間、携帯・スマホ・ゲームなど、家庭での使用について約束を決め、長時間の使用をしないようにしてください。